

Opening Symposium of the Global COE Program
“Global Center for Education and Research on
Human Security Engineering for Asian Megacities”, at Kyoto University

グローバル COE プログラム「アジア・メガシティにおける人間安全保障工学拠点」
に関するオープニングシンポジウム

- ・ 代表者：松岡 譲（マツオカ ユズル）
- ・ 日時：平成 20 年 12 月 19 日
- ・ 場所：京都大学桂キャンパス 船井哲良記念講堂
- ・ 主催：京都大学 GCOE 「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」
- ・ 共催：大学院教育 GP インテック・フュージョン型大学院工学教育

- ・ 主な参加者

松岡譲(教授, 都市環境工学専攻), 藤井信孝(教授, 京都大学副学長/理事), 大寫幸一郎(教授, 工学研究科長), 小林慎太郎(教授, 地球環境学堂長), 千木良雅弘(教授, 防災研究所副所長), Xihui ZHANG (Prof., Tsinghua University), Wang Wei (Prof., Tsinghua University), Huynh Trung Hai (Prof., HUT), Djoko Santoso (Prof., ITB), Vilas Wuwongse (Prof., AIT), Bernard Tan Tion Gie (Prof., NUS), Ranjit Mitra (Prof., SPA), B.Misra (Prof., SPA), 門内輝行(教授, 工学研究科建築学専攻), 大津宏康(教授, 工学研究科都市社会工学専攻), 田中宏明(教授, 都市環境工学専攻), 多々納裕一(教授, 防災研究所), 米田稔(教授, 都市環境工学専攻), 参加総数約 350 名

- ・ シンポジウムの目的概要

本シンポジウムでは、文部科学省グローバル COE 「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」の採択を受けて、アジア諸都市に設ける 6 拠点（シンセン、ハノイ、バンコク、バンドン、シンガポール、ムンバイ）から演者を招き、各都市の現状やニーズを紹介すると共に、プログラムの全体像及び 4 つの研究領域の研究ビジョンを、関連教員、海外関係者、学生の間で相互に共有化することを目的とする。

- ・ シンポジウムの様子、得られた成果

シンポジウムでは、藤井信孝・京都大学副学長/理事, 大寫幸一郎・工学研究科長, 小林慎太郎・地球環境学堂長, 千木良雅弘・防災研究所副所長より本プログラムに対する期待と抱負が述べられると共に、GCOE 拠点リーダーである松岡譲教授より本プログラムの紹介が行われた。また、海外 6 拠点（シンセン、ハノイ、バンコク、バンドン、シンガポール、

ムンバイ) から代表者が招かれ、各拠点の状況や今後の研究協力へ展望が紹介された。また、4 研究領域 (都市ガバナンス、都市基盤マネジメント、健康リスク管理、災害リスク管理) の代表者からは、各領域の今後の研究展望が紹介された。

総計約 350 名にも上る参加者を記録し、教員関係者のみならず、数多くの学生の参加が確認され、その関心の高さが示された。また、本シンポジウム後に開かれた懇親会では、京都大学関係者と海外拠点関係者の交流ははかれるだけでなく、海外拠点関係者間での有意義な意見交換がなされ、今後の本プログラムのビジョンを共有する有意義な場となった。



松岡譲教授



懇親会の様子



全体集合写真